

令和7年1月21日

各市町村教育委員会教育長 様

神奈川県社会教育委員連絡協議会
会 長 小 池 茂 子
(公 印 省 略)

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会における
御協力について（依頼）

日頃より本協議会の活動について、御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件については、令和6年3月22日（金）に開催した第1回実行委員会において、「オール神奈川」として各市町村から御支援・御協力をいただきながら粛々と準備を進め、神奈川大会を盛り上げていくことをお伝えいたしました。

神奈川大会まで1年を切り、開催になる年を迎えたこの時期に、あらためまして「オール神奈川」として神奈川大会を盛り上げていきたい旨、貴市町村の本協議会理事（社会教育委員）や事務局職員の皆様方と共有させていただきたく書面にて依頼させていただきます。

つきましては、貴市町村の本協議会構成員に神奈川大会について別添開催概要（案）を参考に御周知いただき、神奈川大会に積極的な御参加を賜りますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、現時点における県内参加予定者数を把握いたしたく、別紙により令和7年2月21日（金）までに御報告くださいますよう併せてお願いいたします。

なお、神奈川大会への参加申込等については、令和7年3月18日（火）に開催予定の第2回実行委員会等でお伝えしていくことを申し添えます。

問合せ先

神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課内
神奈川県社会教育委員連絡協議会事務局 品田、村松
電 話 045-210-8344
電子メール syakyou@pref.kanagawa.lg.jp

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会開催概要（案）

1 大会スローガン

「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

2 研究主題

「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」

3 趣 旨

作成中

4 主 催/共 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、
神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

5 後 援（予定）

神奈川県、横浜市、神奈川県公民館連絡協議会、神奈川県地域婦人団体連絡協議会、
神奈川県社会教育協会、神奈川新聞社、t v k (テレビ神奈川)、

6 期 日 令和 7 年 11 月 20 日 (木) ・ 21 日 (金)

7 参加者

- ・ 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
- ・ 同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
- ・ 同地区の地域住民、NPO 法人、社会教育士、学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方 約 700 名

8 会 場

【1 日目（全体会）】

関内ホール（大ホール） 横浜市中区住吉町 4-42-1

JR 関内駅北口徒歩 6 分、市営地下鉄ブルーライン関内駅 9 番出口徒歩 2 分

【2 日目（分科会）】

関内ホール（小ホール） 横浜市中区住吉町 4-42-1

JR 関内駅北口徒歩 6 分、市営地下鉄ブルーライン関内駅 9 番出口徒歩 2 分

横浜市開港記念会館（講堂） 横浜市中区本町 1-6

みなとみらい線日本大通り駅 1 番出口徒歩 1 分、JR 関内駅南口徒歩 10 分

横浜情報文化センター（情文ホール） 横浜市中区日本大通 11

みなとみらい線日本大通り駅 3 番情文センター口直結、JR 関内駅南口徒歩 10 分

横浜市技能文化会館（ホール 1） 横浜市中区万代町 2-4-7

市営地下鉄ブルーライン伊勢崎長者町駅 1 番出口徒歩 3 分、JR 関内駅徒歩 5 分

かながわ県民センター（ホール）

JR・市営地下鉄・みなとみらい線横浜駅きた西口徒歩 5 分

9 参加費 4,000 円（大会資料代等）

10 日 程

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
第1日目 11月20日 (木)			受付	アトラクション	開会行事	記念講演	休憩	シンポジウム	閉会行事	分科会準備	情報交換会
第2日目 11月21日 (金)		受付	分科会 (5会場)	<予定>			受付	開始	終了		
						第1日目	11:00	12:00~16:40			
						第2日目	9:30	10:00~12:20			

11 大会内容

第1日目【全体会】

12:00~12:20 歓迎セレモニー

○○○○

12:30~13:00 開会行事

・主催者あいさつ

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員長

全国社会教育連委員会会長

・来賓祝辞

・歓迎のことば

・来賓紹介

・表彰

13:10~14:10 記念講演

テーマ：「誰もが自分らしく生きることができる世の中を目指して」（仮）

認定NPO法人スローレーベル 栗栖 良依 氏

14:20~16:20 シンポジウム

テーマ：「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」

<コーディネーター>

青山学院大学 コミュニティ人間科学部 教授 伊藤 真木子 氏

<シンポジスト>

○○○○○

○○○○○

○○○○○

16:20～16:40 閉会行事

- ・ 全員合唱
- ・ 次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ（群馬県）
- ・ 閉会のことば

第2日目【分科会】

9:30～10:00 分科会受付

10:00～12:20 分科会

	分科会名	研究テーマ	発表市町村（都県）
第1分科会	地域の教育力の再生と社会教育委員の役割	地域の教育力の低下がささやかれる中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。	・ 海老名市（神奈川県） ・
第2分科会	次の世代につなぐ持続可能な社会	予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	・ 藤沢市（神奈川県） ・ 栃木県
第3分科会	家庭教育支援	子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。	・ ・
第4分科会	共生社会の実現	年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。	・ 茅ヶ崎市（神奈川県） ・ 川崎市（神奈川県）
第5分科会	地域学校協働活動	地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。	・ 真鶴町（神奈川県） ・

(別紙)

令和7年 月 日

神奈川県教育委員会教育局生涯学習課内
神奈川県社会教育委員連絡協議会事務局 様

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会 参加予定人数

日付	11月20日(木)		11月21日(金)	
区分	社会教育委員	行政職員	社会教育委員	行政職員
参加予定人数	人	人	人	人

※参加予定人数については、大会運営に関わる方の人数を含めて記載してください。

※大会運営に関わる方の人数は、次ページを参照してください。

市町村名	
担当者名	
連絡先電話番号	

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会 運営人数

		大会運営に関わる人数	
		11月20日(木)	11月21日(金)
総務部会	横浜市	3人	2人
	茅ヶ崎市	3人	発表者
	秦野市	3人	2人
	大磯町	3人	2人
研究部会	三浦市	3人	3人
	葉山町	4人	4人
	鎌倉市	4人	4人
	逗子市	3人	3人
	寒川町	3人	3人
	平塚市	4人	4人
	相模原市	4人	4人
	伊勢原市	3人	3人
	横須賀市	4人	4人
	二宮町	3人	3人
運営部会	川崎市	3人	3人※ 発表者
	藤沢市	2人	2人※ 発表者
	南足柄市	2人	2人
	中井町	3人	3人
	大井町	2人～3人	2人～3人
	松田町	2人～3人	2人～3人
	山北町	2人	2人
	開成町	2人	2人
	小田原市	2人～3人	2人～3人
	箱根町	2人	2人
	真鶴町	4人	4人※ 発表者
	湯河原町	3人	3人
広報部会	厚木市	2人	3人
	大和市	2人	2人
	海老名市	2人	発表者
	座間市	2人	3人
	綾瀬市	2人	-
	愛川町	2人	-
	清川村	2人	2人

○第3回の各部会（令和6年11～12月）で検討して分担を決めた人数を記載しています。

○分科会発表市町村の残り1つ（第3分科会：家庭教育支援）が決まることによって、人数の変動があります。

※運営部会は、川崎市、藤沢市、真鶴町が大会2日目の分科会発表になるため、今後、3市町に分担した人数を他の市町に割り振る必要があります。